

施工要領書

エコグリーン[®]マット 折板屋根緑化システム (基本システム)



このたびは、エコグリーンマット折板屋根緑化システム（基本システム）をご採用いただきありがとうございます。

- 施工業者の安全と使用者の安全確保のために、この施工要領書をよくお読みください。特に「施工前の注意点」「施工・安全管理」は施工設置前に必ずお読みいただき、安全で正しく施工設置を行ってください。
- この施工要領書は、お読みになった後もいつでも見れる場所に大切に保管してください。

〈もくじ〉

施工前の注意点	2
施工・安全管理	3
システム概要	4
施工部材・施工用工具	5
施工手順・施工要領	6

施工前の注意点

- 設置計画にあたり積載荷重を確認してください。
- 折板屋根は多種多様な種類があります。設置する屋根に応じた取付金具が必要です。
- 折板屋根にはいろいろな種類があるため屋根の仕様にあわせて部材も設計する必要があります。
- 折板屋根緑化システムはすべて受注生産になります。納期には十分にご注意ください。

施工・安全管理

施工管理

- 本文中の注意、チェック事項を作業員末端まで徹底をはかる。
- 担当係員と相談の上、作業工程を組み適切な作業人員を確保する。
- 不良箇所および補修の必要な箇所は、速やかに適切な処理をする。

安全管理

労務

- 作業を直接指揮する人の指示を守り、勝手な行動をしない。
- 緊急時には指揮者や誘導員の指示に従って落ち着いて行動する。
- 現場作業に従事する者は必ず安全帯、ヘルメットを着用する。
- 作業中は、くわえタバコをしない。
- 服装は、作業に適したものを着用する。

機械・電気

- 工事取り付け機器類は、現場の検査に合格したものを使用する。

足場・運搬

- 現場係員の指示に従う。

現場ルール

- 現場常会に積極的に参加して、定められた事項を守る。

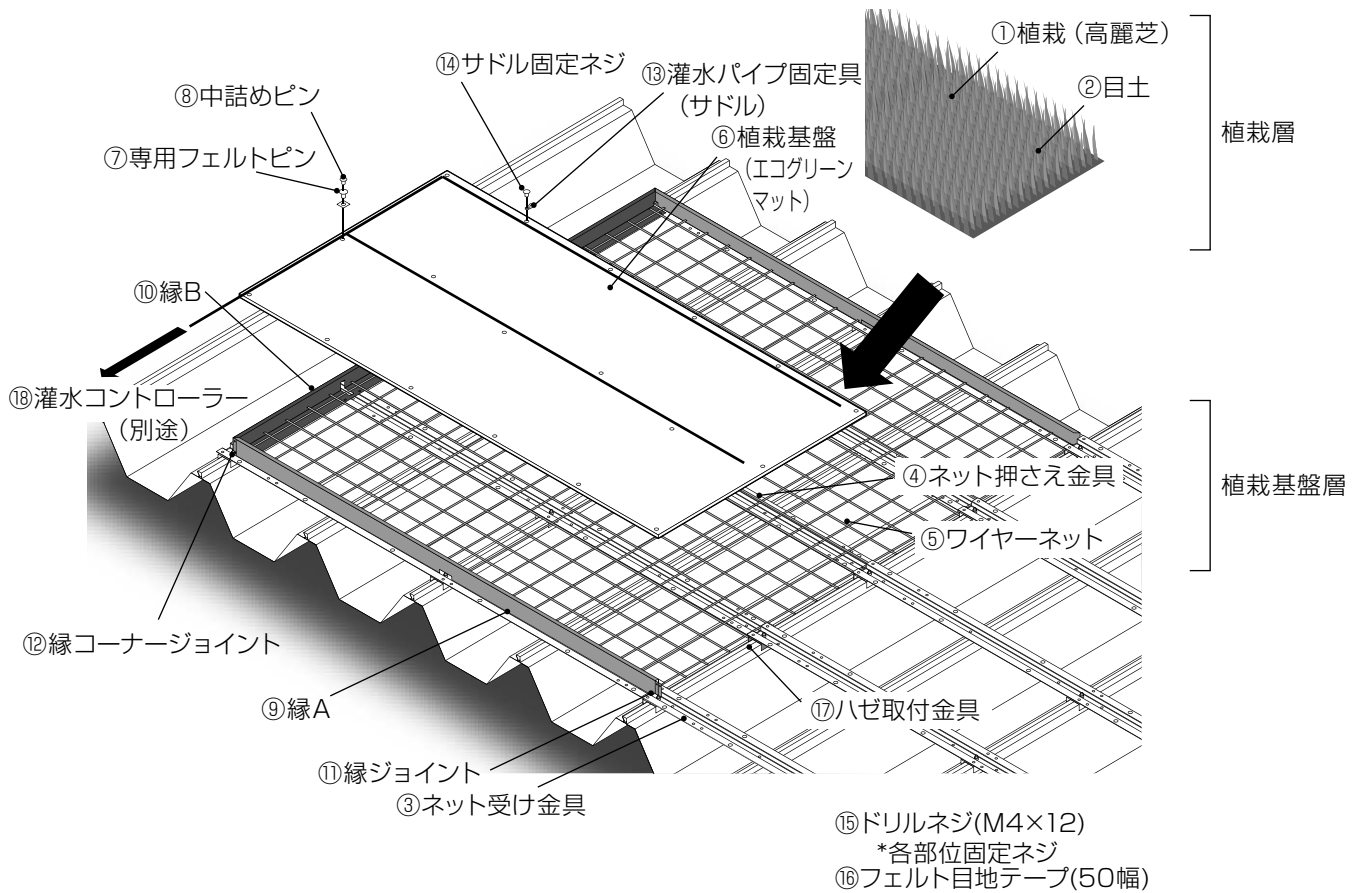
安全教育等

- 安全教育、講習、説明会等は、積極的に参加する。

システム概要

折板屋根仕様：ハゼ式 働き幅 500mm の場合

※下図は植栽物として高麗芝を選択した場合の一例となります。



基本システム

システム	基本システム重量	35.6 kg/m ²	
植栽基盤性能	1. 乾燥重量	11.1 kg/m ² (フェルト+ワイヤーネット+土壌)	人工軽量土壌絶乾比重 0.45
	2. 湿潤重量	20.6 kg/m ² (同上)	人工軽量土壌湿潤時比重 0.80
	3. 厚み	32 mm (同上)	植栽の厚みは含まず
	4. 最大含水量	16.4 l/m ²	水を与えた直後の水分量
	5. 湿潤時保水量	9.5 l/m ²	水を与えた安定後の水分量
植栽	6. 植栽重量	約 15.0 kg/m ² (高麗芝の場合)	参考重量
使用条件	埋設型灌水チューブの設置	○ (人工軽量土壌内に埋設)	
	人や車椅子の乗り入れ	×	芝生を植栽した場合

施工部材

構成	部材	部品名	材料	規格／サイズ	備考
植栽層		① 植栽（高麗芝）			
		② 目土			
植栽基盤層		③ ネット受け金具	SPCC 1.6 t	98 mm×2023 mm×19.6 mm	高耐食溶融メッキ
		④ ネット押さえ金具	SPCC 1.6 t	45 mm×18 mm×8.6 mm	高耐候溶融メッキ
		⑤ ワイヤーネット	φ 6 鉄線	100メッシュ 2000 mm×1000 mm	溶融亜鉛メッキ
		⑥ 植栽基盤 （エコグリーンマット）	ポリエステル 反毛繊維	2000 mm×1010 mm×20 mm	
		⑦ 専用フェルトピン	PP	φ 30 mm × 37 mm	専用フェルトピン
		⑧ 中詰めピン	PP	φ 11 mm × 40 mm	
		⑨ 縁 A	SPCC 1.0 t	1990 mm × 32 mm × 85 mm	
		⑩ 縁 B	SPCC 1.0 t	2010 mm × 30 mm × 68 mm	
		⑪ 縁ジョイント	SPCC 1.0 t	60 mm × 21 mm × 56 mm	
		⑫ 縁コーナージョイント	SPCC 1.0 t	30 mm × 30 mm × 56 mm	
		⑬ 灌水パイプ固定具（サドル）	ナイロン	13 mm × 35 mm × 23 mm	
		⑭ サドル固定ネジ	SUS	ナベ（+） M6 × 40 mm	中詰め用タップネジ
		⑮ ドリルネジ	SUS	ナベ（+） M4 × 12 mm	
		⑯ フェルト目地テープ		50巾接着テープ	
		⑰ ハゼ取付金具 ^{※注1}	溶融亜鉛 メッキ 2.3 t	角ハゼ用 丸ハゼ用	ナット付
		⑱ 灌水コントローラー			各種
		・ 灌水チューブ	LDPE	φ 17 mm、間隔 500 mm 吐出量：2.3 ℓ / 時	
		・ 継手部材等			

※注 1：ハゼ取付金具は各折板規格に合うものを選択してください。

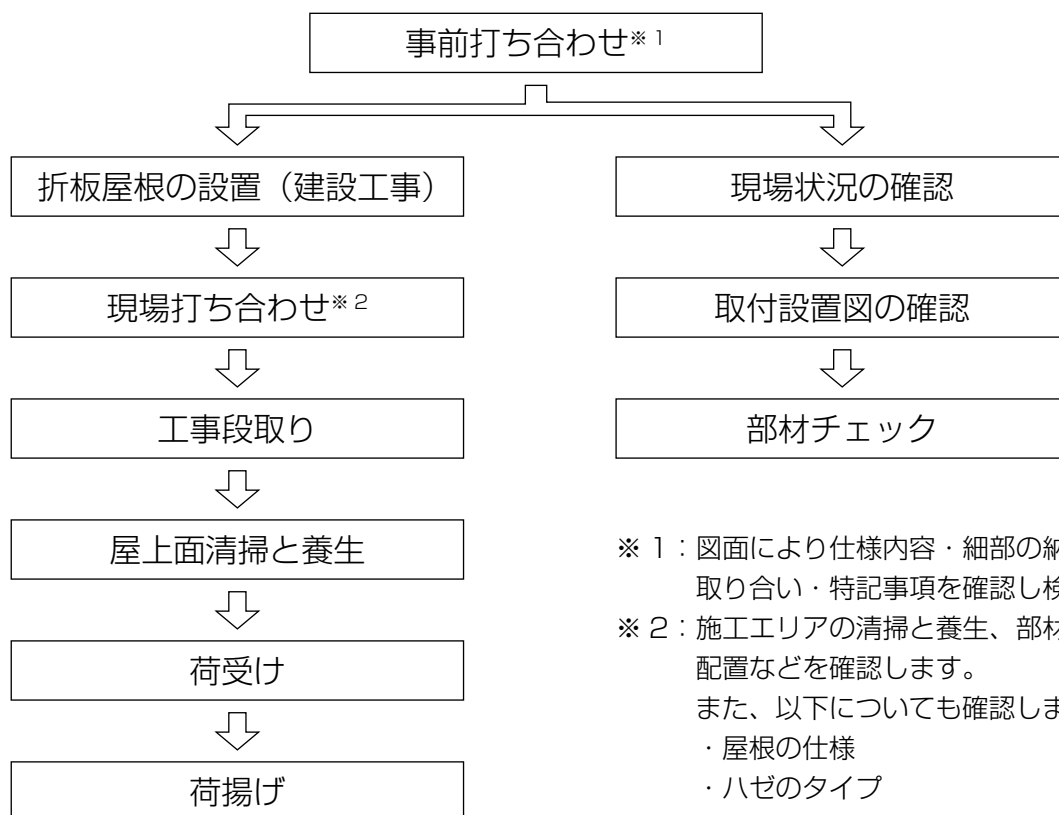
施工用工具（現場手配）

施工用工具	備考
スケール	寸法出し
チョークライン	墨出し
カッターナイフ	各種部材カット
ハサミ	各種部材カット
電動グラインダー	各種部材カット
電動ドリル	M13 M14 ロングソケット、+ビット
水平器	
結束バンド	灌水チューブ固定用
プラスチックハンマー	Hジョイントの結合
整地用具	軽量土壌、目土の敷均し
ほうき、ちり取り	清掃
筆記用具	

施工手順・施工要領

1 施工手順

前準備



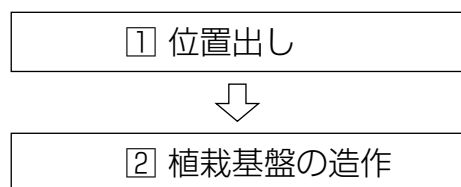
※1：図面により仕様内容・細部の納まり、取り合い・特記事項を確認し検証します。

※2：施工エリアの清掃と養生、部材の荷揚げ、配置などを確認します。

また、以下についても確認します。

- ・屋根の仕様
 - ・ハゼのタイプ
 - ・ハゼのピッチが500であること
 - ・弊社の標準ハゼ金具が取り付けられる屋根であること
- (それ以外の屋根形状に関しては、別注対応となります。)

施工



- ②-1 ハゼ金具の取付
- ②-2 受け金具の取付
- ②-3 縁材の取付
- ②-4 ワイヤーネットの取付
- ②-5 フェルトの敷き込みと固定

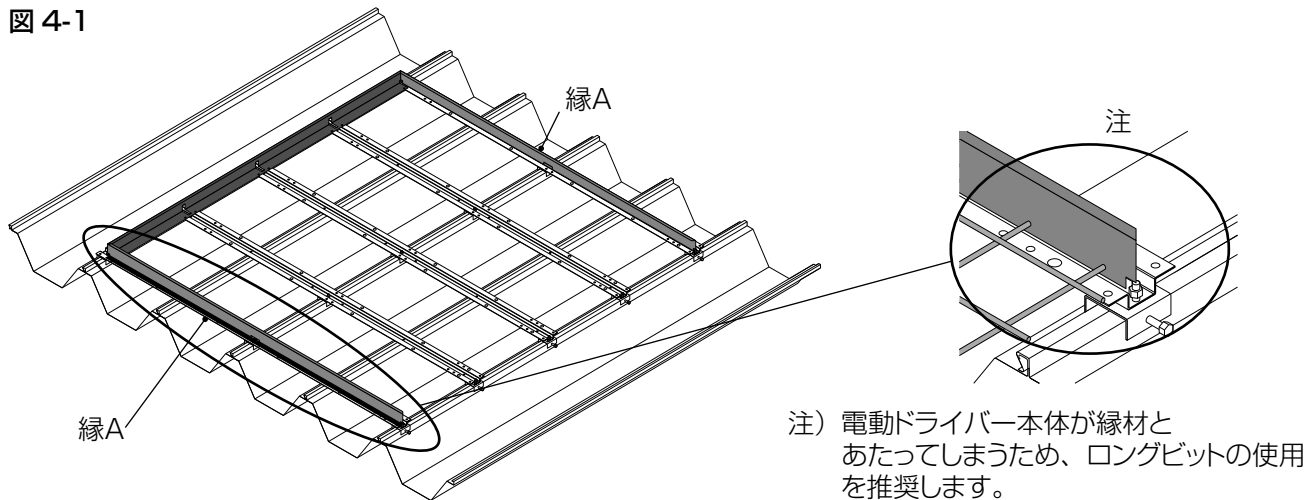
- ②-6 灌水ホースの敷設
 - ②-7 土壌作業
 - ②-8 高麗芝の施工 (目土含む)※3
- ※3：植栽物として高麗芝を選択した場合

施工手順・施工要領 (つづき)

4 縁の設置

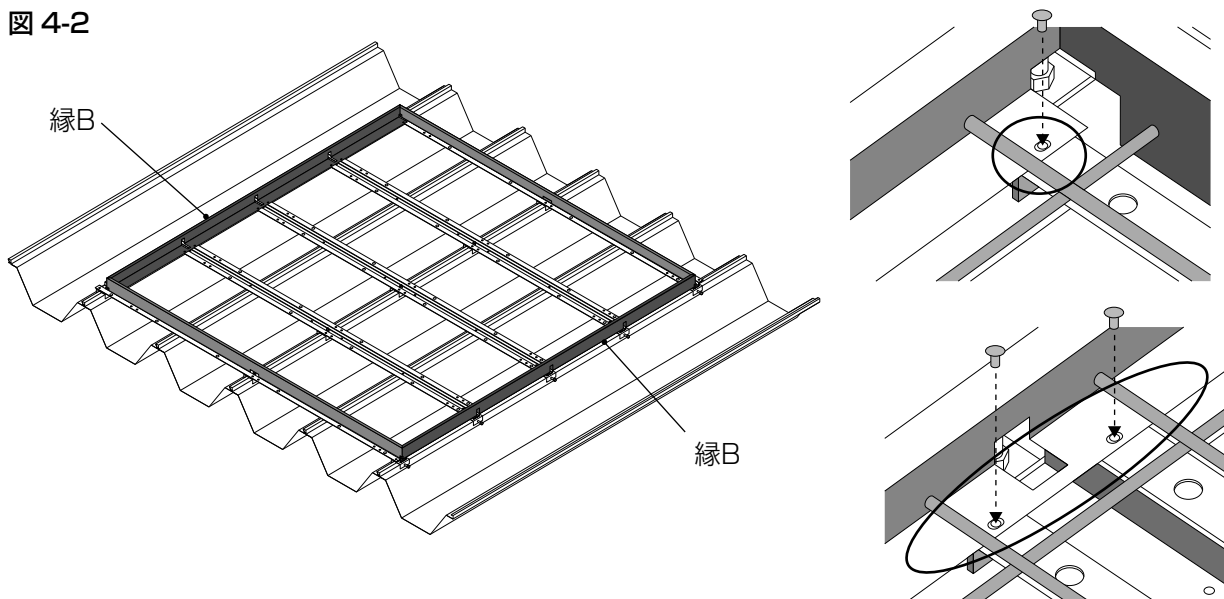
- ① 縁 A をネット受け金具の溝に入れ、穴位置を合わせてドリルネジで固定する。(図 4-1)

図 4-1



- ② 縁 B をネジで取り付ける。(図 4-2)

図 4-2



- ③ 隣り合う端部および隅部に、縁ジョイントをドリルネジで固定する。(図 4-3、4-4)

図 4-3

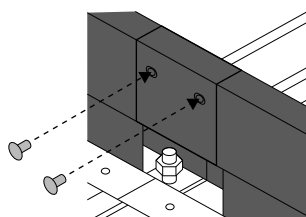
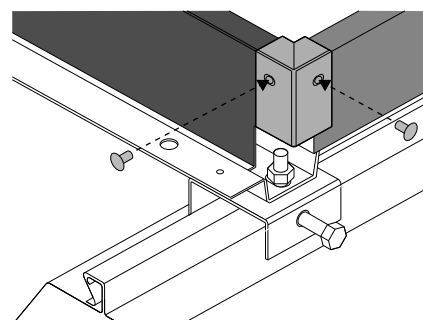


図 4-4

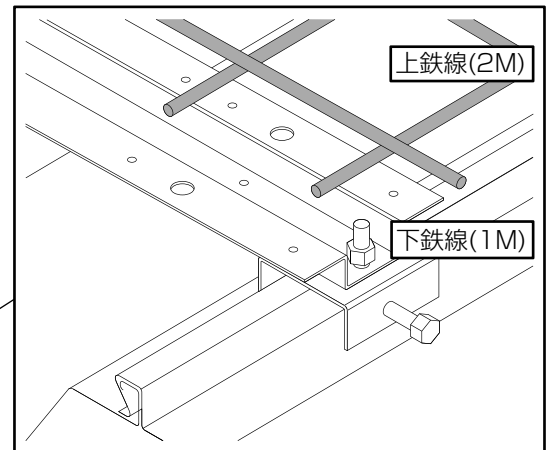
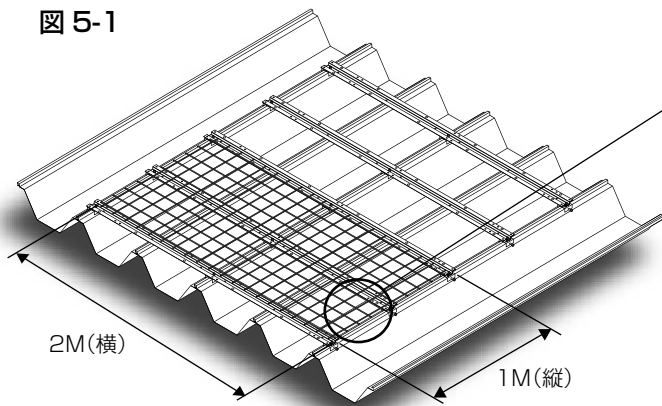


5 ワイヤーネットの設置

① ワイヤーネットをネット受け金具の上に仮置きする。

- ワイヤーネット (2.0m × 1.0m) には向きがあります。(図 5-1)
 - ・ 縦横：屋根の流れ方向 (縦) と、ネットの 1M 幅を合わせます。
 - ・ 裏表：下鉄線 (1M 長) がネット受け金具に乗る側を取り付けます。正しく取り付けないと、縁 B との接合ができなくなります。

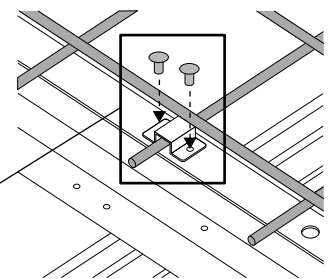
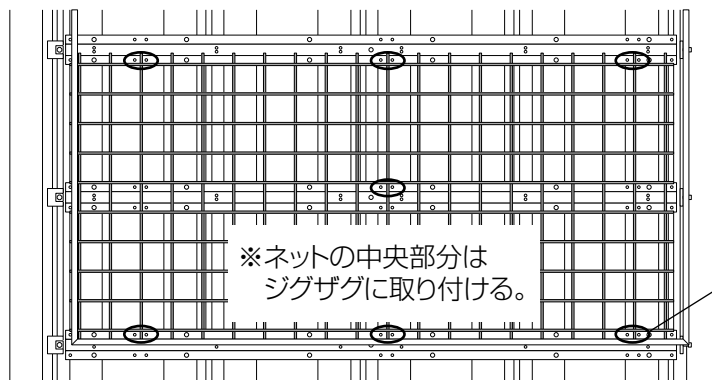
図 5-1



② ワイヤーネットを固定するためのネット押え金具を取り付ける。

- ワイヤーネット 1 枚あたり、7 か所をドリルネジ 18 本で固定してください。(図 5-2)

図 5-2

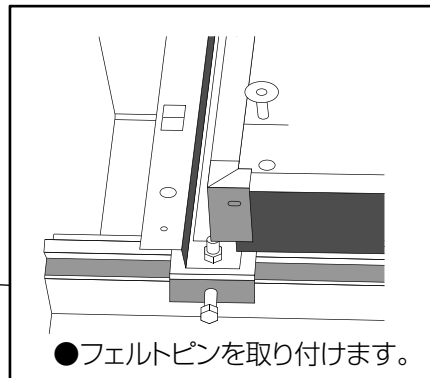
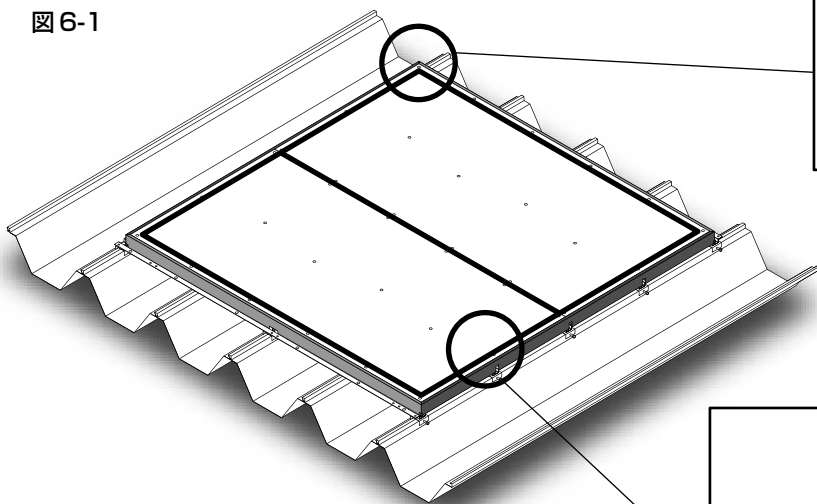


施工手順・施工要領（つづき）

6 フェルトの設置

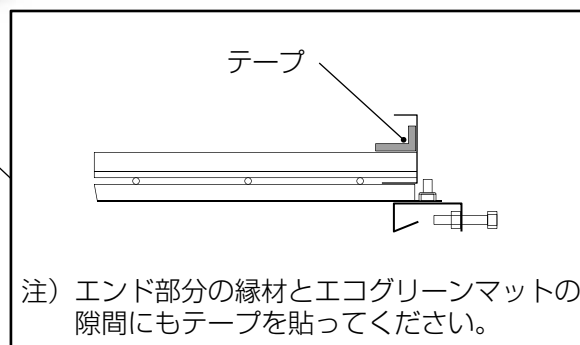
- ① ワイヤーネットの上にフェルトを敷き込む。
- ② フェルトピンを取り付ける。（図 6-1）
- ③ 連結部分にフェルト目地テープを貼る。（図 6-1）

図 6-1



●フェルトピンを取り付けます。

※中詰めピンはまだ取り付け
ないでください。

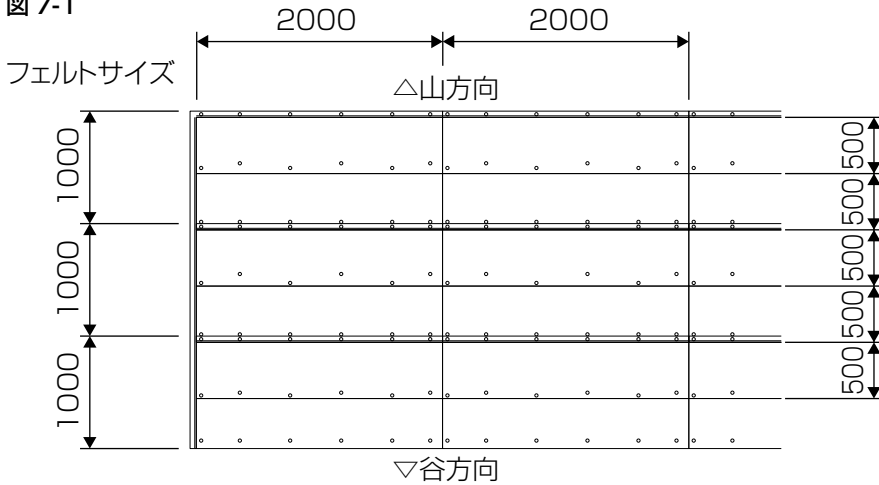


注) エンド部分の縁材とエコグリーンマットの
隙間にもテープを貼ってください。

7 灌水ホースの敷設

① 灌水位置を確認する。(図 7-1、7-2)

図 7-1



- フェルト一枚に対して灌水チューブ2ラインです。下部には灌水チューブ必要ありません。
- 灌水チューブは吐出口30cmピッチ吐出量2.3L/hのものをお使いください。

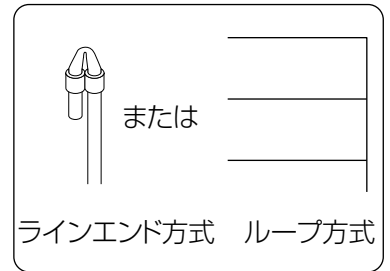
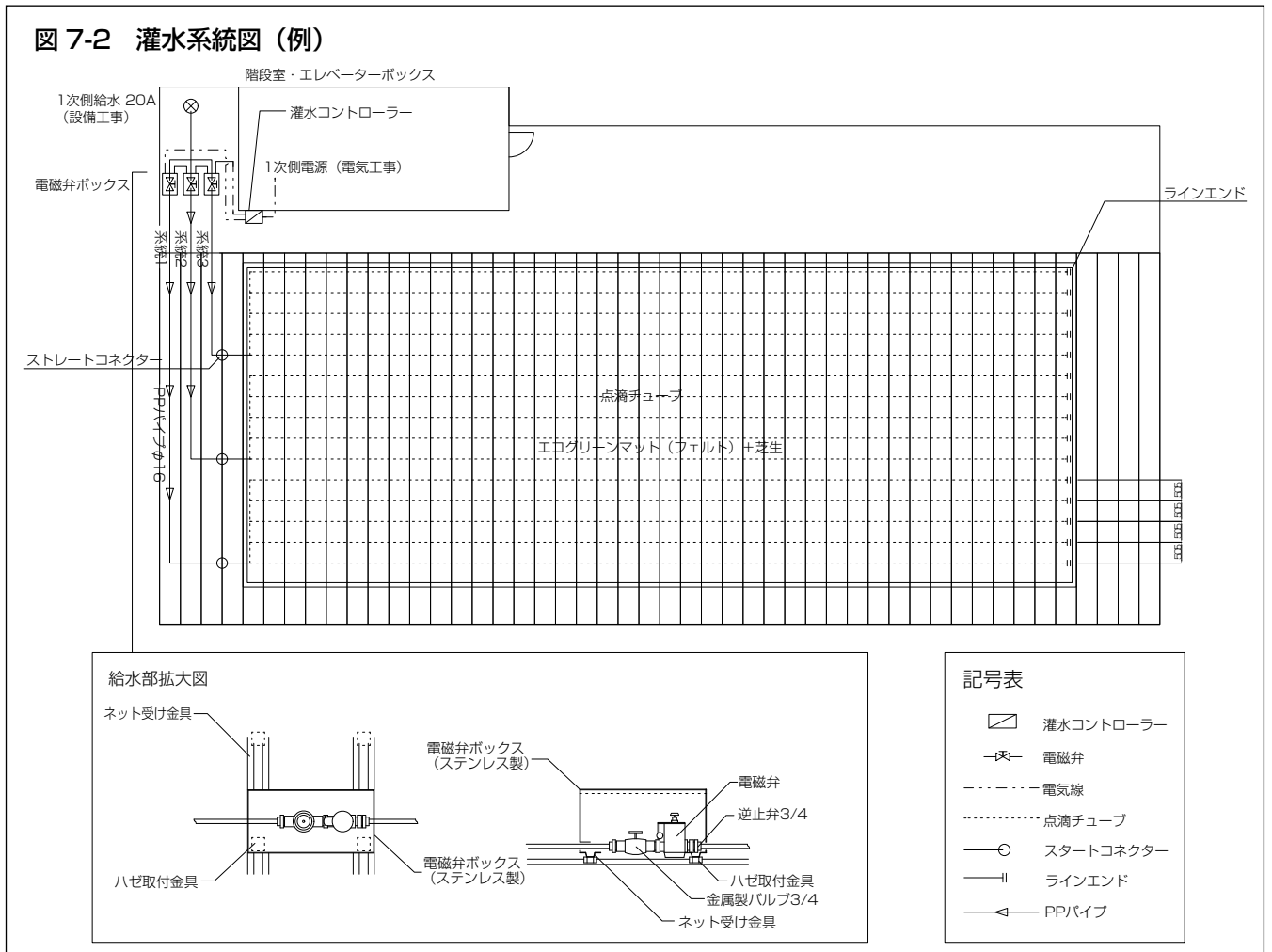


図 7-2 灌水系統図 (例)



施工手順・施工要領（つづき）

② 灌水チューブを取り付けながら、中詰めピンと灌水チューブ用サドルを指定の位置に取り付ける。（図 7-3、7-4）

- 灌水チューブ用サドルは、6M × 40 のタップネジでフェルトピンに固定してください。
- 残りのフェルトピンには、中詰めピンを押し込んでください。

図 7-3

●フェルト中詰めピン差し込み位置

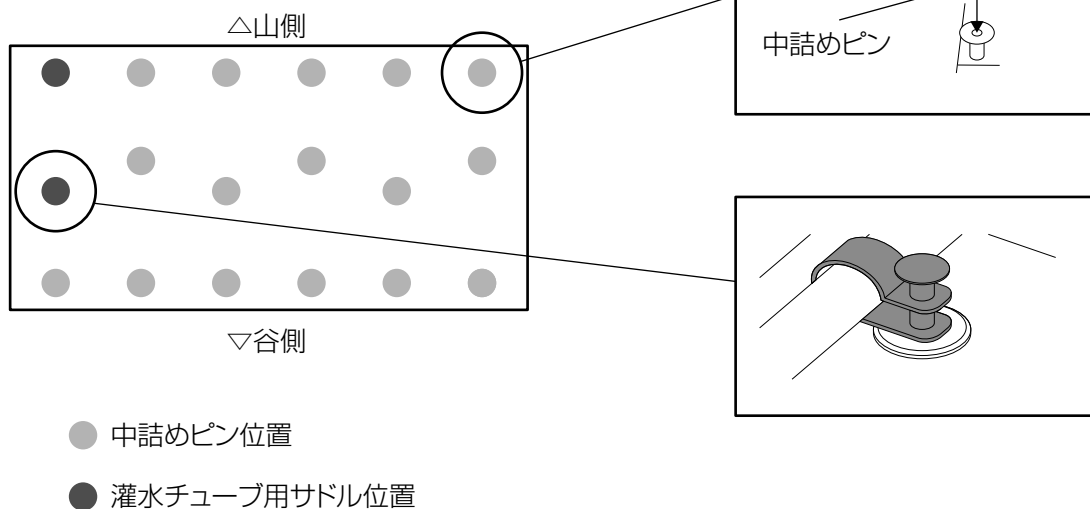
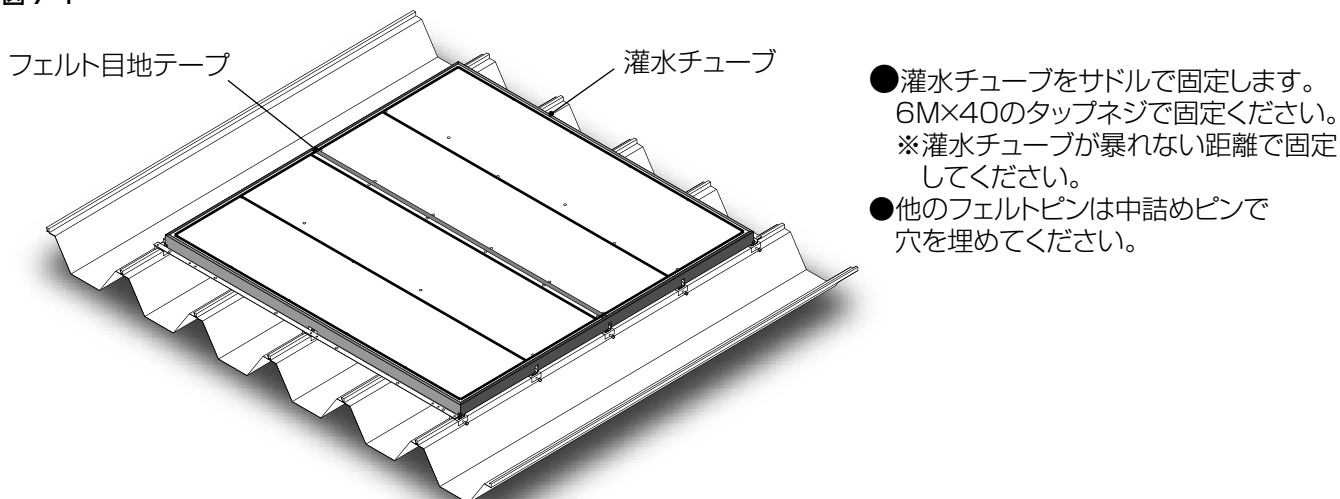


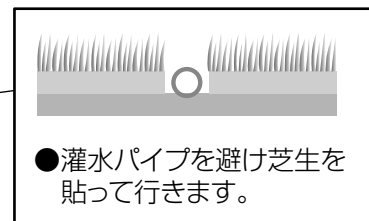
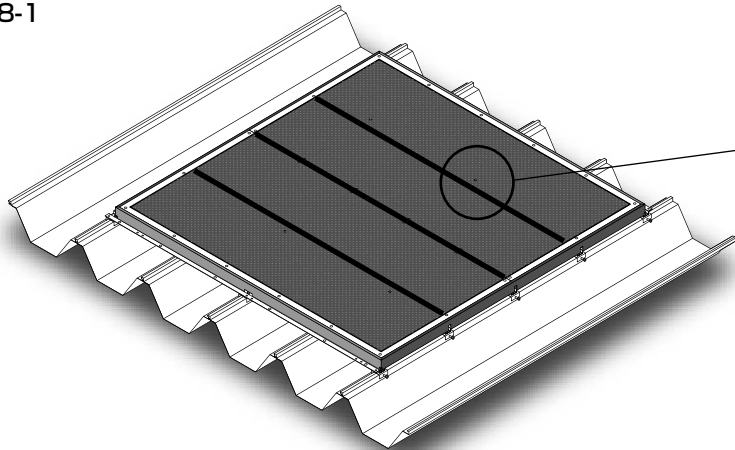
図 7-4



8 芝張り

- ① 灌水チューブを避けるようにして、高麗芝を張る。
(図 8-1)

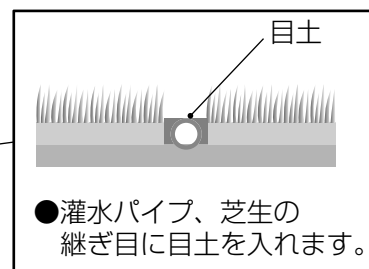
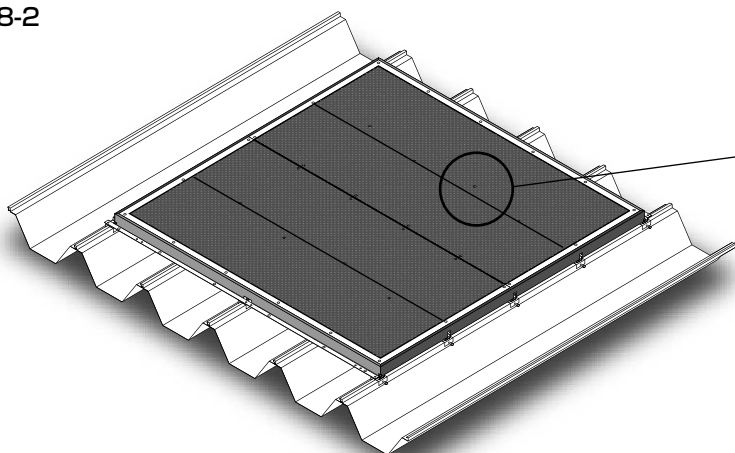
図 8-1



- ② 目土を敷き均す。(図 8-2)

- 目土を 1 m²あたり 4～5 リットルまき、庭ほうきなどで葉の中にすり込んでください。この作業は年間を通して行ってください。

図 8-2



- ③ 散水を行う。

- 表面に水が浮くぐらいたっぷりと散水してください。
- 芝生を置いてから 1 時間以上散水しないと、季節によっては紫外線により枯死する場合があります。
- 特に夏場の施工の場合は、状況を見ながら 1 週間程度灌水頻度を増やしてください。

※製品の仕様、外観等は、改良などにより、予告なしに変更することがあります。



第三営業本部
大阪 〒556-0001
大阪市浪速区下寺3-11-2
TEL 06-6633-1873 FAX 06-6633-1893
東京 〒105-0001
東京都港区虎ノ門5-10-12
TEL 03-3432-4075 FAX 03-3432-5654
MAIL info-daisan@yamazaki-sangyo.co.jp
ホームページ <http://ryokuka.yamazaki-sangyo.co.jp/>